

「枕草子 ―かたはらいたきもの―」

一 傍線部の語句の読みを、現代仮名遣いで記す。

[2点×3]

- ①客人などに会ひてもの言ひて、
[]
②下衆どものぞわぬたる。
[]
③おある人の前にて、
[]

二 傍線部の語句の意味を後から選べ。

[2点×5]

- ①かたはらいたきもの、
[]
ア いたたまれないもの。苦々しいもの。
イ 体調が悪くなりそうなもの。
ウ うちとけていないもの。
[]
②思ふ人のいたく酔ひて、
[]
ア 少し。 イ 適度に。
ウ ひどい。
[]
③人のうへ言ひたる。
[]
ア 世間話。 イ 世辞。
ウ 他人のいわぬ。
[]
④うつ／＼み、かなじがり、
[]
ア 同情じ。
イ かわいがり。
ウ いら／＼思う。
[]
⑤いこ／＼いこ／＼もおもほはれぬわがが、
[]
ア 自慢しない。
イ 記憶しない。
ウ 思わない。

三 傍線部の助動詞の活用形を記す。

[2点×4]

- ①よくも音弾きていめぬ、
[]
②心の限り弾きたてたる。
[]
③聞きめたりけるを知らず、
[]
④何ばかりの人ならねど、
[]

四 傍線部の助詞の意味を後から選べ。

[2点×3]

- ①客人などに会ひてもの言ひて、
[]
ア 例示
イ 引用
ウ 添加
[]
②使ふ人などだにいとかたはらいたし。
[]
ア 類推
イ 限定
ウ 添加
[]
③おのが心地のかなしきまゝに、
[]
ア 主格
イ 連体修飾格
ウ 同格

(解答) 「計30点」

一 ①まろうと ②げす ③ぎえ [2点×3]

二 ①ア ②ウ ③ウ ④イ ⑤ウ [2点×5]

三 ①連体形 ②連体形 ③連用形 ④已然形

[2点×4]

四 ①ア ②ア ③イ [2点×3]